

なぜ勉強するのか？

茗溪塾塾長 長谷誠基

先日小6受験コースと公立一貫校受検コース対象に全校合同特訓が行われました。

今年は瑞江教室と王子教室の2か所に集まり、「第1志望校にチャレンジ！」というテーマで算数を中心に授業や不得意特訓サバイバル、テーブルマッチなどを行いました。合同特訓を行う意味は直接の学習効果よりも意識面への働きかけが大きな狙いになります。今の時期に自分の志望する学校の問題は非常に難しいのですが、今の自分と志望校の距離を知り、何に気を付けて勉強するのか？に気づき、同じような学校を志望している子供たちで学習することで、互いに刺激し合うことでやる気を引き出していきます。

さすがに受験学年なので、5年生のときのようなお楽しみ要素はほとんどありませんでしたが、長時間の学習にも集中して取り組んでいました。合格を勝ち取るためには精神的な成長が不可欠になります。今後大変な時期にいろいろなことを我慢しながら取り組めるか？自分で考えて学習ができるか？できるだけ早い段階でこれができるようになってくれば成功間違いなしです。特訓は子供からすればできれば避けたいものです。参加してくれた生徒たちは、それだけですでに一歩成長しています。受験学年を中心に行われる合同特訓は様々なテーマで年に何回も行われています。どんなテーマでいつ行われているかなどは、5月の説明会や面談を通じてお知らせしていきます。是非、積極的にご参加ください。

つい先日、教室の中学生から、「なんで数学って勉強するんですか？世の中に出たら、ほとんど使いませんよね？」と言われました。久しぶりに聞かれたなあと思いながら、その場で答えたのは、「今後の AI 時代に生きる君たちは、AI を使いこなすのか？AI に使われるのか？どっちが良い？AI を使いこなすには数学の知識は絶対必要だよ。」と答えました。素直な子だったので、これで終わりましたが、普通はこの後、「使われた方が楽でいいじゃん！」とか、反論が返ってくるものです。なぜ学ぶのか？という問いは、大人になれば自然に答えが出るものですが、確かに今やっている生徒たちからしたら、どうしてこんな勉強するんだろう？という疑問は常にあるかもしれません。最終的には自分で自分のことを考えて、様々な判断をしていくために学ぶ必要があるのだと思うのです。考えるには様々な知識の中から、材料を探し、比較し何が一番良いのかを考え判断する。そのためには幅広い知識や論理的に考える習慣がなければいけないと思います。今後の人生が人から言われるだけにならないためにも、学習することの意味と大切さを伝えていきたいと思っています。